

事務事業名 市民（旧女性）大学講座補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：625

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-12-529
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			女性社会参画のため、地域婦人会において行う市民（旧女性）大学講座を支援するため、補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告 【市民（旧女性）大学講座の内容】生涯学習センター（館外を含む）、二日市コミュニティセンター、勤労青少年ホームにおいて、以下の事業等を展開。 書道教室、社交ダンス、コーラス、日舞、洋裁教室、料理教室、トールペイント、茶道教室等 また、青少年支援事業として、「平成つくし『寺小屋』」を開催し、小中学生書道教室、そろばん教室を実施。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 実用的なものから趣味的なものまで多面にわたる講座を開催し、その資質や能力が向上することにより、女性の地位向上につなげる。							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
講座数		講座	19	18	27	27			40	
受講者数		人	121	125	300	300			400	
5. コスト										
事業費		計	千円	100	270	270	270			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他 一般	千円	100	270	270	270			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	792	773	782					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	892	1,043	1,052	270				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		講座の内容は、カルチャー的なものから、青少年健全育成支援、男性対象の講座も開設し、各種ニーズ、地域の活性化に取り組んでいる。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、自治公民館やコミュニティセンター等で開催している各種講座事業があるが、本事業は、女性の社会参画を目的としている事業であるため、その必要性は高いものと考えている。 また、若い世代の育成（青少年育成支援事業）に、力を入れている。 令和2~3年度は新型コロナウイルスの影響により、活動の自粛で、講座の未開設期間もあったが、令和4年度はやや回復傾向にある。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
婦人会としても講座生の増加を課題としており、令和4年度は市広報紙配布時の各区回覧にて、講座案内パンフを配布するなど、講座生募集に力を入れている。引き続き支援を行う。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄							
昭和47年の中央公民館の開館に伴い、学習環境が整ったことを受けて、事業を開始した。			趣味講座に留まることなく、生涯学習の理念と社会的情報の提供。女性の地位向上とジェンダーフリーの視点で、教室リーダーを中心に学習を開催している。 青少年健全育成支援事業への力を入れている。							